2026 年 11 月 20 日

【SUPER FORMULA 第 11 戦･第 12 戦 / 鈴鹿サーキット】
大会直前情報



国内のモータースポーツカテゴリーが続々と最終戦を迎えている 11 月。全日本スーパーフォーミュラ選手権も、11 月 21 日(土)、22 日(日)に鈴鹿サーキットで開催される第 11･12 戦でシーズンエンドとなります。

2 月のテストを経て、4 月上旬にモビリティリゾートもてぎで開幕した今シーズンのスーパーフォーミュラ。路面改修が行われたもてぎでは、開催時期が早まったことも相まってコースレコード更新にも期待がかかりました。残念ながら 2021 年に記録されたレコードタイムの更新は叶いませんでしたが、第 1 戦予選ではそれに迫るタイムがマークされ、サステナブルな原料を 46%配合したタイヤのパフォーマンスを改めて示す形となりました。その後、シリーズはオートポリス、鈴鹿サーキット、富士スピードウェイ、スポーツランド SUGO といった国内のサーキットを転戦。春先の冷え込んだ季節にも、35 度を超える酷暑の中でも幅広いコンディションに適応できるタイヤで、国内屈指のハイスピードバトルが繰り広げられるこの舞台を足元から支えてきました。







鈴鹿大会を前に、チャンピオン争いに残ったのは 3 名。開幕 2 連勝を飾ってポイントランキングをリードしてきた太田格之進選手(DOCOMO TEAM DANDELION RACING)、ディフェンディングチャンピオンの岩佐歩夢選手

(TEAM MUGEN AUTOBACS)、そして今季 2 勝を挙げているイゴール・オオムラ・フラガ選手(PONOS NAKAJIMA RACING)です。

11 月 20 日(金)に行われた 2 本のフリー走行は、強い風の影響もあり、いずれも赤旗中断をはさむ荒れたセッションに。そんな中、最後に行われた予選シミュレーションでは、フラガ選手がトップタイムをマーク。第 11 戦の予選でポールポジションを獲得できなければタイトル争いから外れてしまうという、非常に厳しい条件を背負って挑む最終大会ですが、アタック直前の赤旗中断というハプニングもはねのけて最速タイムを記録しました。

フラガ選手と同組でアタックシミュレーションを行った太田選手はフラガ選手に対して約 0.4 秒差のグループ 2 番手。総合結果では 7 位でしたが、「何度も赤旗が出る中、予選に向けた準備も決勝に向けた確認もしっかりとできました」と自信をのぞかせます。

いよいよ始まる、1000 分の 1 秒をかけた 2026 年のラストバトル。すべての選手が、最後の 1 周まで全力で戦えるよう、ヨコハマタイヤは足元からサポートしてまいります。シリーズチャンピオン決定の瞬間に注目するとともに、国内トップドライバーたちの競演を最後までお楽しみください。